

神山先生の ラオス通信

ecoclub



ラオスに行っています。 - 2015.02.12 Thu

ラオスを支援している神山先生が2月12日（木）に飛行機で日本から出発しました。ラインで届く、現地報告、写真を掲載していきます。どうぞ、ご覧ください。



神山です。もうすぐ成田から出発です。



8:29 みなさん、行ってきます！



8:30 今、ハノイで飛行機待ちです。夕方6時50分に乗り換えです。周りから英語、ベトナム語、中国語、韓国語などいろいろな国の言葉が聞こえてきます。



18:50 みなさんからあずかった「鉛筆」「ボールペン」はこのリュックとバッグにはいっています。

頑張って自分の荷物はリュックに詰め込みました。



18:51 やっとチェックインしました！

★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>

ラオスに着きました。 - 2015.02.12 Thu



23:08 (日本時間) ラオスに着きました。ホテルです。

明日は6時からお坊さんの托鉢見学からスタートです。

★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>

10 : 24 (日本時間)

朝の托鉢が始まりました。小学生くらいの子もいます。



11 : 03 (日本時間)

そして朝市へ。美味しそうな野菜や果物。そして食虫文化のタガメ、カメムシ、さらにネズミなど・・・

バナナの花、川の藻、もち米、仏様に備える花、綿製品フクロウのリュックサックなどなど、面白かった～





★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>

ラオスの様子2 - 2015.02.13 Fri

※ラオス滞在中の神山先生からLINEで届いた写真とコメントを転載しています。



食事をして、街をお散歩です。郵便局で、ポストカードと切手を買いました。そこで、何とか日本製のはかりを発見。



店先で発見。バケツの中にセットされた七輪らしき物。こちらでは、まきや炭で食事の準備をしています。



町を一望できるプーシー山に登りました。途中で不思議な蔦を発見。
始め見た時は、電柱についているようなものに見えたけれど、よく見ると植物でした。



プーシー山の頂上の眺め。メコン川とルアンパバンのお寺があります。



朝、食べた実がなっています。この実はねっとりとした干し柿のようでした。
プルーンに似てたかな。



山がお寺になっていて信仰につながるものを売っています。
朝市にも売っていた小鳥は功德をつむことにつながるので、
観光客も買って、放してあげます。



竹の橋がかかっています。
子どものお坊さんも渡っています。のどかです。

★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>



国立王宮博物館です。素晴らしい彫刻で飾られています。中も見学しました。

ランサーン王国時代のたくさんありました。

ここは昔、たくさん象がいたので、この名がついたそうです。紋章は象が3つついたものです。



夜は日本人オーナーのお店でラオス舞踊を見ながら食事をしました。

★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>



3日目の朝も、朝の托鉢から始まりました。小さな子どもも並んでいます。去年も、はじめはよく意味がわからないことがありました。貧しい家庭の子どもが、お坊さんがお布施でもらった物を、わけてもらっているのです。



王宮博物館に行きました。バンペンさんは、ここの館長さんをしていたこともありました。



竹とんぼ作りを頑張りました。作っている途中、ホテルの方が見に来て、竹とんぼをプレゼントしたら喜んで飛ばしていました

。

子どもにあげるそうです。2つさしあげました。



見てください。ラオスと日本の友好の願いを込めて 両国の国旗がついています。

ラオスで竹とんぼの授業ができるといいです。

ラオスにも竹はたくさんあります。竹とんぼに適しているかどうかはまだわかりません



日本の子どもたちからいただいた鉛筆とボールペンです。



カバンや袋にセットしました。



子どもたちが作った折り紙作品も用意しました。

★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>



今日はバンペンさんと文具の買い出しに行きます。そこで明日の打ち合わせも行います。

写真はバンペンさんと娘さんです。娘さんは5年生だそうです。

バンペンさんが日本に留学するときに関矢さんのお宅にホームステイしたことから、関矢さんのラオスの支援が始まりました。そして今年は関矢さんの思いをつないで神山先生がラオスに行くことになりました。

バンペンさんは現在、県の外務庁の副長官だそうです。

バンペンさんと一緒に文具店に行き、注文をしました。ノート、教科書、ボールペンなどを買いました。

明日、朝からバンウーとバンシンに出かけます。小学校の子どもたちと会う予定です。

授業も見学する予定です。日本の子どもたちから預かった文具も、直接手わたししてきます。



ナムカーン川です。お坊さんも水浴びにきています。



メコン川を渡る渡し船です。雨季と乾季では、水位が2メートルも違うので橋が架けられません。渡し船は、市民の大事な足です。車や、トラックも、上手に載せます。バイクなら、30台は乗ります。



こちらのヤモリは、鳴きますが日本のは鳴きませんよね。どうしてかな？



ルアンパバンには、お寺が30位集まっています。お寺の前を通過して曲がるとまたお寺です。並んでいる所も有ります。

上の写真の仏塔や壁画の小さなガラス板は、日本から輸入したもので、修復したそうです。



ナイトマーケットに行きました。沢山の布製品、紙すき「和紙と同じに漉くラオ紙」のライトカバー。

木彫りの像、など沢山ありました。欧米人が多いです。

韓国人、日本人も少しいました。早速、ラオ紙に描いた水牛の絵を買いました。

★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>

今日は朝からバンシン、バンウー小学校に、
日本の子どもたちから預かった文房具を届けに行きます。



学校に行く前に、サッカーボールを4個買いにいきました。



バンシンの村の入り口には、小さな子どもたちがいて歓迎してくれました。



バンシン小学校に着きました。日本の子どもたちから預かった文房具や絵です。
右側の男の方が校長先生です。



4年生の子どもたちです。



4年生の子どもたちひとり一人に、
日本の子どもたちから預かった「えんぴつ」「ボールペン」をわたしました。



日本の子どもたちからです。これでしっかり勉強してくださいね。



お姉ちゃんの横で静かに待っている子は4歳ぐらいの男の子です。
この子にも鉛筆と竹とんぼをわたしました。





校長先生たちと記念写真をとりました。



なかなか回すのはむずかしいですが、次第に上手に飛ぶようになり、子どもたちは大喜びでした

。



5年生のお坊さんもいます。



バンシン小学校を後にして、次はバンウー小学校です。



同じように、教室に入り鉛筆とボールペン、竹とんぼを渡しました。



ラオスの子どもたちと記念写真です。この学校は1，2年生で16人です。
日本の子どもたちが作った折り紙を渡し、写真を撮りました。



去年の竹とんぼのことを覚えてくれて、手をあわせて飛ばすまねをしてくれました。



校庭で竹とんぼを飛ばして遊びました。



ラオスの空に日本の竹とんぼが、ラオスの子どもたちの手で高く飛び上がります。<



バンウー小学校です。



電気も扇風機も、新しく1つの教室に2つついていました。

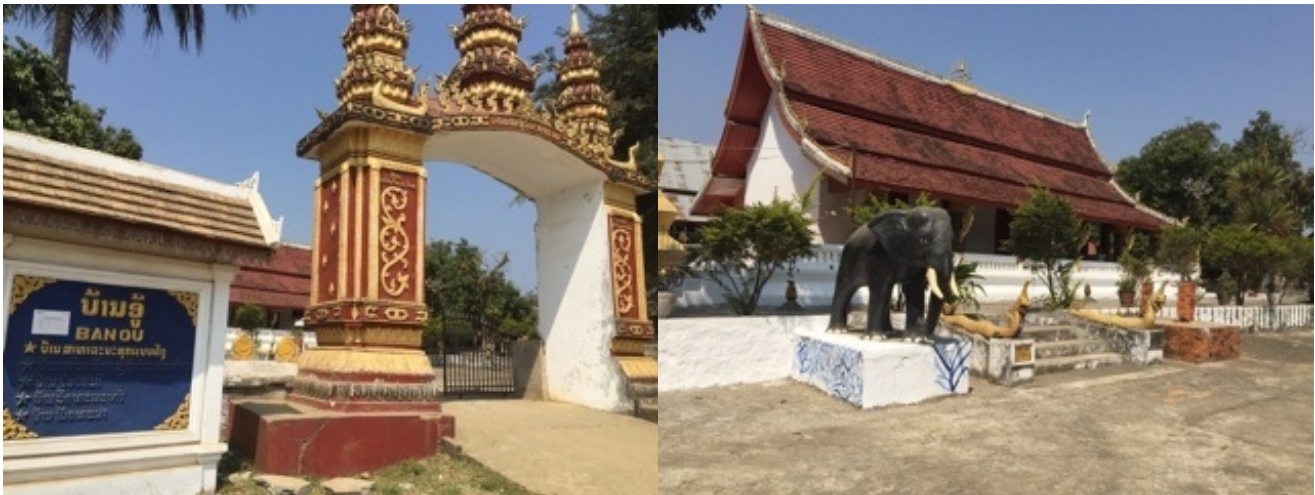
関矢さんの昨年のプレゼントです。

バンシン小学校もバンウー小学校も2つずつついていました。

関矢さんの思いがしっかりと形になって伝わっていました。



学校をたずねた後、校長先生の家で、パーシーをして、もてなしていただきました。
村のお年寄りたちも集まって、私達を歓迎してくれました。
何よりも子どもたちの笑顔が素敵でした。



小さな60戸ほどの村にも、こんな大きなお寺があります。
今回は去年会った2年生のお坊さんには会えませんが、
帰りがけに、姿だけを見かけることができました。親元から離れて、頑張って修行しています。

たくさんの支援をしてくれた、日本の子どもたち、友人達、教え子たちにお礼を言いたいです。
日本に帰ったらしっかりと報告をさせていただきます。素晴らしい体験をさせていただきました。

応援してくれた日本の子どもたち、自然っ子クラブ、在家小学校、そして安行小学校の子ども
たち、校長先生、
ありがとうございました。

2月16日ラオスより 神山裕則 (埼玉県環境アドバイザー 川口エコスクールン講師)

★安行小のホームページからも神山先生のラオス支援についての活動報告が読めます。

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/angyo-e/gakkougyouji/26nendo/3gakki/3gakki.html#1410>



今日はミニバスでウドムサイに移動しました。6時間半かけて行きました。

明日はまた4時間かけてルアンナムチャーに行きます。

バスも、ミニバンなので、シートは12名で、途中2人を乗せました。



人の移動手段は、ミニバスが多いです。手を上げれば止まってくれます。



ラオスの女性は「シン」というスカートを履いています。長い布を腰にまきつけ、裾に細かな刺繍をしています。今日は早めに安宿に入りました。2人で1465円ほどです。シャワーもお湯が出るし、まあ、オッケーです。

今日は朝から移動です。



市民の足は、バイクです。高校生や主婦、近所へ行く人はバイクを使います。



お坊さんも日傘をさして歩いています。



バスで8時半出発！山、また山の、バス路線？！
定員いっぱいでお出立です。



途中バス停のようなところで、人が手を挙げると、どんどん乗せます。

長距離路線バスのようなのです。立っているひともしんやいます。山の人にとっては大事な足です。



ルアンナムターに着きました。そこからトクトクで、また30分。



博物館です。とても立派な建物です。中はカメラ禁止でした。



竹橋。みんな平気でバイクで渡ります。ちょっと怖くて挑戦できませんでした。



漆の木がたくさんありました。季節には、出荷するらしいです。



川の所で、モリで魚を突いている地元の子がいました。ハゼの仲間がビクの中にいました。明日は、少数民族の集落を見てきます。

市場に行きました。ここは少数民族の人たちが売ったり買ったりするところです。





市場の入口にいたおばあさん。モン族の人でしょうか。スカートのようなものはシンです。



赤族の村の入り口です。魔除けの門です。







ロロ族のおじいさんが、水タバコを吸っていました。家の中に入れてくれました。
織や刺繍をする女性たち。





サトウキビから砂糖をとっているところも見ました。

今日は休養日、のんびり散歩。



今日はバイクで部落めぐり。昨日ミニバンに乗っていた時見た村に行った。





途中、いくつかの村で話をした。

入り口に木の皮を削った束が置いてあったので「これなあに？」と聞いて話し込む。子どもたちが寄ってきて、名前や年齢を聞くと、競って答えてくれる。

次の村では、3～6歳の子たちが20人位集まって、どの子も可愛かった！



村の鍛冶屋のおじさんを見た。
ふいごに鉄を叩くところを見せてもらった。
器用にナタを作っていた。

神山先生のラオス通信～11日目 - 2015.02.22 Sun

今日は移動日。タイに抜けます。

明日はラオスに戻り、スローボートに乗って2日間かけて、ルアンパバンに移動します。船の旅です。



タイ側からラオスを見えています。



メコン河沿いのゲストハウスです。昼食にタイの焼きそば、バットイを食べました。



どの家にも小さな祠（ほこら）があります。

信仰深い国です。

神山先生のラオス通信～12日目 - 2015.02.23 Mon

メコン川の朝日です。

これを見たくてタイに入りました。

ラオスでは今回訪れる場所からは夕日しか見られません。



タイの寺院も大きいです。



さて、今日も移動です。

タイから戻って、ファイサーイからスローボートに乗りました。

5時間の船の旅です。



スローボートには、欧米の若者が多く、にぎやかでした。





メコン川です。雄大です。
ルアンパバンは両側が山と小高い丘になっているため
川幅が狭かったのです、こんなに違うとは、びっくりです。
明日はまたボートで、8時間の旅です。

今日も朝から移動です。8時間という長丁場になる予定。



しかし、昨日の船とは違い、4列シートのテーブル付きのため、ゆったりまったりと進んでいます。

読書ものんびりできる位、揺れはあまりありません。



窓からは、ラオスの村が見えたり、水浴びしている子どもたちが見えたりします。







放し飼いの水牛や牛がたくさんいます。
漁師さんが網をかけたりにしている横も通りました。





ラオスでゲストハウスを経営している日本人の方と知り合いになりました。
サヤダゲストハウス。今夜はここに泊まります。



朝から托鉢見学。

信心深い方たちが、肩に布を巻き、もち米などを捧げている。

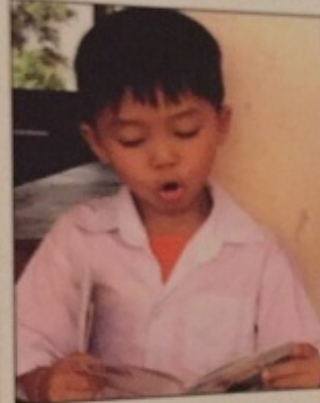


犬にお米をあげる老婆。



今日は、ルアンパバンで絵本をつくっている団体の事務所に行きました。

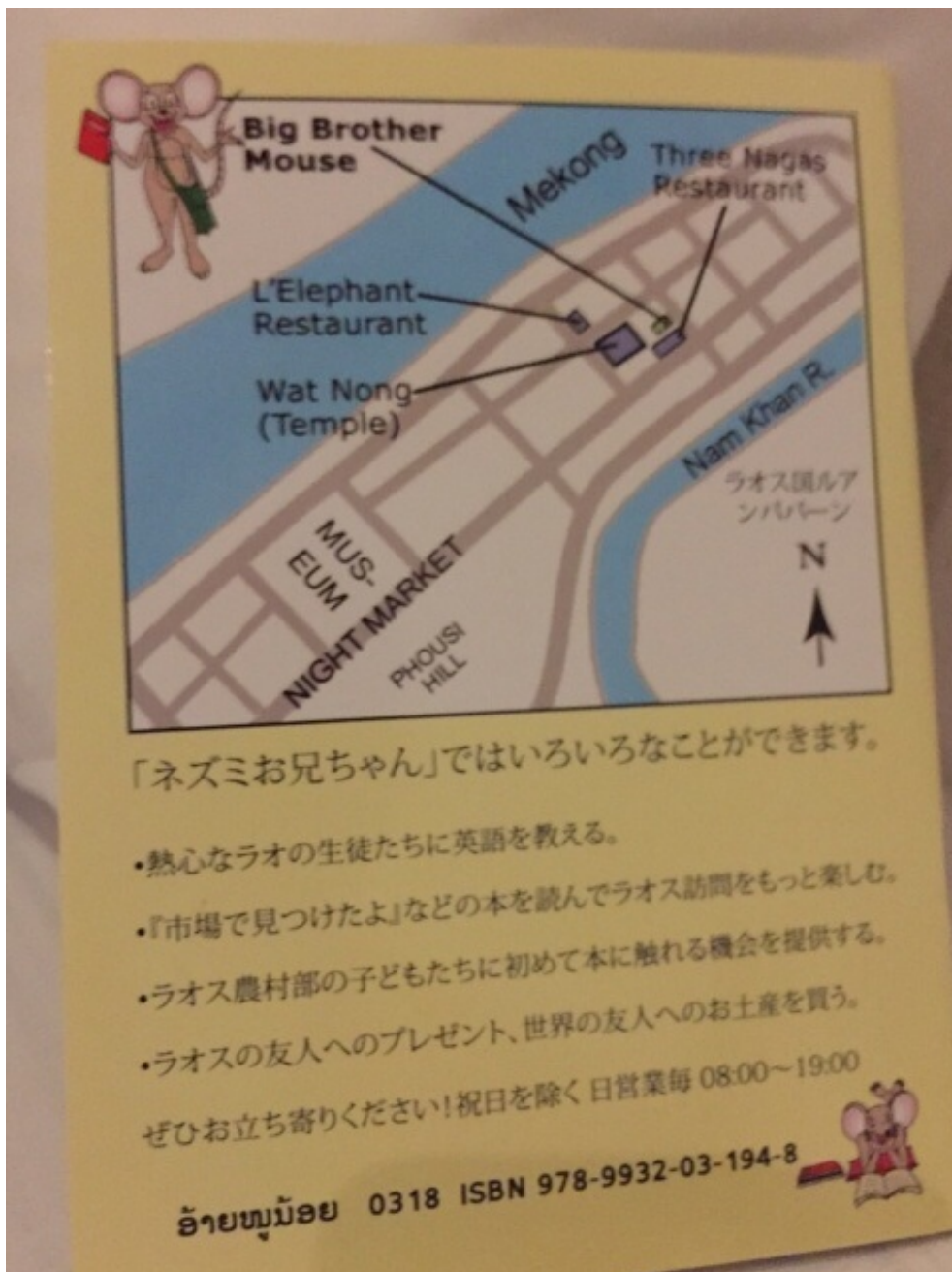
ネズミお兄ち やんの物語



無料!

ラオスの子どもたちに
本を読む喜びを!

ラオス人民民主共和国ルアンパバーン



「ラオスの人は本を読まない」と言われているのを覆そうと、ルアンパバンに初めて出版社を作りました。ブックパーティーを開いて、本を配りながら柄読み聞かせをしているそうです





Baseline Medical Survey in Luang Prabang Business begins



ルアンパンの医療センターに小児科をつくろうと頑張っている日本人の方にも会いました。

LAOFRIENDS <http://www.fwab.jp/activity/lao>

今日はゲストハウスの方の計らいで、我らふたりとスローボートで知り合った若者ふたりと5人でミニバンを借り、バンウー小学校に寄り、村で布を買い、有名な滝に行きました。





学校では、昨日買った本を持ってきました。
旅で出会った若者も、鉛筆を買って持ってきてくれました。
とても喜んでくれ、ラオ語の数の歌を歌ってくれました。



教室に入ると、日本から持っていった折り紙の模造紙が飾られていました。





モン族の子。村の入口で母親が作った刺繍の織物を売っていました。
あとすこしで、ラオスとも、お別れです。